

(様式第1号)

■ 会議録 □ 会議要旨

会議の名称	第47回 芦屋市入札監視委員会
日時	令和5年11月22日(水) 14:00~16:00
場所	北館4階 教育委員会室
出席予定者	委員長 安原 徹 委員 坂本 幸子 委員 中川 みち子  事務局 御手洗副市長 森田総務部長 白井契約検査課長 長良環境課長 竿尾基盤整備課長 石濱道路・公園課長 森本水道管理課長 船曳芦屋病院総務課長 契約検査課職員
事務局	総務部総務室契約検査課
会議の公開	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 ＜非公開・一部公開とした場合の理由＞ 芦屋市入札監視委員会規則第5条第5項
傍聴者数	0 人（公開又は一部公開の場合に記入すること。）

1 会議次第

(1) 議事

- ① 入札・契約手続の運用状況等の報告（令和5年度上半期執行分）
- ② 抽出案件
- ③ 競争入札にかかる指名停止等の措置基準適用状況報告（令和5年度上半期執行分）
- ④ 随意契約サンプリング調査結果報告（令和5年度第1四半期・第2四半期調査分）
- ⑤ その他

2 提出資料

- 資料(1) ア 入札状況及び随意契約内容一覧表 令和5年度上半期  
(令和5年4月1日~令和5年9月30日)  
イ 不調・不落発生件数  
ウ 不調・不落発生件数(工種別)  
エ 公共工事入札状況(予定価格段階別一覧表)  
オ 公共工事入札状況(参加業者・落札業者区分別一覧表)
- 資料(2) 抽出事案①~⑤関係書類(写し)
- 資料(3) 競争入札に係る指名停止等の措置基準適用一覧表(令和5年度上半期分)
- 資料(4) 随意契約サンプリング調査結果報告(令和5年度 第1・2四半期)

#### 第47回芦屋市 監視委員会議事概要

##### (1) 入札・契約手続の運用状況等の報告（令和5年度上半期執行分）

（質疑・意見）ゼロゼロ融資が終わって以降、倒産が増えつつあるという新聞報道等も見ましたが、建設業もそのような状況なのでしょうか。人手不足ということは、仕事量が上回っているということだから、儲けが出ているように思うのですが、そうではないということでしょうか。

（事務局）特に建設業は人手不足が懸念されていますが、技術者配置の都合上、受注できる仕事量に限度があることで経営の継続に影響が及んでいる状況もあるのではないかと思います。

（質疑・意見）最近是人件費や建設資材が高騰しているので、採算性が低下する要因となっていることも考えられます。

（質疑・意見）請負金額が千円台のものがありますが、これはどのような内容のものですか。

（事務局）単価契約により実施している案件となっています。発注時には数量が未定のため、代表的な工種を定めて、その単位当たり金額で契約を行っています。

（質疑・意見）JR芦屋駅南地区の再開発関連の業務がいくつかありますが、一括して発注できるようなものではないのですか。

（事務局）同種業務であれば一括発注も検討しますが、専門性が高く、種別が異なる場合などでは、それぞれの分野において実施可能な業者の中から選定を行うため、別々に発注します。

（質疑・意見）一体的なマネジメント契約の中で実施するといった手法もあるかと思いましたが、その観点でお聞きしました。

（事務局）ご趣意とは異なるかもわかりませんが、再開発事業の実施にあたりましては、民間の事業協力者を選定しており、助言・提案をいただきながら事業を進めてきております。

（質疑・意見）少額工事で不調が多いとのことですが、中でも学校関係の案件がいくつかあります。下半期に再度、入札を実施するとのご説明でしたが、例年ですと、下半期のほうが不調となる割合が高いと思われるのですが、どのような工夫が考えられるのでしょうか。

（事務局）ご指摘のとおり、下半期は不調率が更に高くなる傾向がありますことから、可能なものは上半期で実施するということが、不調対策の取組の一つではありますが、結果、不調となった案件につきましては、辞退理由も参考としながら、必要に応じ、設計内容や工期の見直し。また、業者選定については、基本的な考え方として、工事の規模・区分に応じて、市内・県内のできるかぎり優良な業者に指名機会を与えるよう配慮することということになっております。これと過去の入札状況などを踏まえ、案件毎に指名業者数などを決定しているところですが、更に対象範囲を拡大した上で、改めて業者選定を行うこととなります。

（質疑・意見）工事については、不調の発生率が高い状況が続いていますが、業務委託ではほとんど発生していないのは、どのような違いが考えられるのでしょうか。

（事務局）推察ではありますが、やはり建設業は他業種よりも人手不足が顕著であるということと、工事の専門性・難易度が影響していると思われる。それから、件数としては多くないですが、最低制限価格を設けていることで不調となったものもございます。

(質疑・意見) 工事の入札ですと、最低制限価格に近い金額で競い合っているような状況がありますが、その制度上の違いも影響としてあるのではないかと個人的には思います。

(事務局) 工事における最低制限価格ですが、品質確保・労働者保護等の観点から設定が求められているものでございます。

(質疑・意見) 業務委託では、工事と比べて落札率が非常に低いものがいくつかありますが、これは、予定価格の設定が高すぎたということなのか、あるいは企業努力として、低額で入札されたものなのか、どのようにお考えでしょうか。

(事務局) ご指摘の両方の側面があるかと思っております。予定価格については、国・県の積算基準に基づき算出をいたしますが、業務内容によっては、業者見積りに委ねる部分が多数を占めるものもあります。適正な積算に努めているところではありますが、見積り内容に差異が生じていることも影響として考えられます。また、入札金額では、業務の内容にもよりますが、人員を要するものについては作業の効率化や、資器材等に係る費用の節減を図るなど、企業努力によることも大きいのではないかと考えております。

## (2) ①令和5年度 大気汚染監視測定機器保守管理業務委託

(質疑・意見) 測定機器の保守管理業務とは、具体的にどのような内容なのでしょうか。

(事務局) 計測する種別毎に機器が設置されており、結果を記録しています。業務としては、正常に測定が行えるよう、定期的な機器の点検やフィルター類の取替え等の対応。また、データの送信に不具合が見られた場合など、異常が発生した時に緊急で現地の確認を行うこともあります。

(質疑・意見) 前回も同じ業者が落札されていますが、金額的な変動はあったのでしょうか。

(事務局) 前年度より80万円程度上昇しています。

(質疑・意見) 各業者で入札金額が異なるのは、どのような理由が考えられますか。

(事務局) 各々の積算の内訳まで把握することはできませんが、運搬費等に関しては、所在地によって影響が生じる部分があるかもしれません。大半は点検に係る人件費かと思われます。

(質疑・意見) 落札業者は比較的近接地に所在されているのでしょうか。

(事務局) 神戸市内ですが、本市と近い場所にあります。

(質疑・意見) 今回、入札された3社が金額的に競っているように見受けられないのですが、過去からの落札業者の状況はどのようになっていますか。

(事務局) 直近の5年では当該業者が落札者となっています。所在地の優位性も考えられますが、企業努力をされている結果とも受け止めています。

## (2) ②芦屋市大型カルバート外定期点検業務委託

(質疑・意見) 落札金額が予定価格よりも大きく下回っていますが、業務は問題なく履行されているのでしょうか。

(事務局) 既に完了している業務ですが、調査・点検は適正に行われたものと考えております。数日かに分けて現地で作業が実施されています。

(質疑・意見) この業務に関しても、各業者の入札金額が大きく異なっていますが、どのように推察されていますか。

(事務局) 必要な作業にどの程度の人員配置を要するのか。作業車両が所有なのかリースなのか。また、先ほどもございましたように、所在地の優位性も要因の一つになり得ると考えておりますが、各々で力を入れられている業務、得意分野も異なる中で、適正と考える価格にも差異が生じているのではないかと推察しております。

(質疑・意見) 国の積算基準に従って算定しているものの、実際の作業状況とは異なるため、予定価格との乖離が生じてしまっているような業務もあると思うのですが、これに関しても、原因は同じでしょうか。

(事務局) 本業務では、予定価格の算定にあたり、所定の業務を実施する上で、必要となる技術者の人数を示していただく「歩掛見積」を複数の業者に依頼しており、その平均値等の査定結果を根拠としております。業務内容についても、国から示されている点検項目や作業方法に関する仕様書に則って定めておりますので、実態とも大きなずれはないと考えております。

(質疑・意見) 5年毎の点検とのご説明でしたが、前回は落札率は同じような状況だったのでしょうか。

(事務局) 今回ほど低い落札率ではありませんでした。請負業者は今回とは異なります。

(質疑・意見) 実績づくりも企業の戦略としては考えられるでしょうから、安価でも適正に業務が行われていることを市で確認されているのであれば問題はないと思います。

## (2) ③平田町地内地籍調査業務委託 [官民境界等先行調査 (2項委託)]

(質疑・意見) この業務は、土地家屋調査士の方が行うものではないのですか。

(事務局) 官地と民地の境界を確定するための根拠となる測量や図面作成等は土地家屋調査士の方が行う領域ではありますが、本業務については、境界の確認や法務局への届出のための資料作成等を含めた内容となっており、地籍調査に関する資格を有するものを条件としております。

(質疑・意見) 前年度の請負業者以外の指名業者は、今回は除かれていますが、何らかの規定によるものなのでしょうか。

(事務局) 個別具体の例に対応した規定はございませんが、指名機会の均衡と競争性確保の観点から踏まえ業者選定を行っております。

(質疑・意見) この業務も入札金額に各社で差が生じています。更に競争性を高めるための工夫の余地はないのでしょうか。前年の応札者もいくつか残しつつ、新規業者も含めて選定する方法であれば、次回の入札意欲にもつながるのではないかと思います。

(事務局) 競争性、公平性の両面で点検が必要かと考えておりますが、参考とさせていただきたいと思います。

(質疑・応答) 入札金額については、土地勘や経験値によるところも大いにあるでしょうが、業者選定については、選択の幅を広げられるのか、一度ご検討いただければと思います。

(2) ④奥山浄水場3号ろ過池補砂工事

(質疑・意見) 指名業者の構成は昨年度と変化があったのでしょうか。

(事務局) 本工事の発注金額に対応した等級区分等に基づき、指名業者の選定を行っておりますが、年度毎の登録業者の格付け更新を反映した結果、昨年度からは指名業者が1社減少しております。今回の落札率の低下は、人件費や資材の運搬費の高騰を受け、予定価格が上昇したことが要因の一つと分析しております。

(質疑・意見) 昨年度から落札率が低下したことは結構なことなのですが、今回は、最低制限価格未満での入札も数社ある状況となっておりますので、競争性が高まった要因がそれだけなのか気になりました。

(質疑・意見) この種の施設の工事を実施できる業者はそれほど多くないのでしょうか。要件を満たす業者が概ね固定化されている状況だと、選定業者も簡単に類推されてしまう恐れがあります。

(質疑・意見) 昨年度と比較して、落札率が改善した点に関しては、一定の前進があったものと捉えておきたいと思います。

(2) ⑤市立芦屋病院 照明LED化工事

(質疑・意見) 昨年度は電話交換設備を更新されていますが、一体で行える工事ではないのでしょうか。

(事務局) 工種が異なるため、別途発注が適切と考えています。単年度で実施可能な予算上の都合もございます。

(質疑・意見) 種類が多いことや、一部には特殊な器具があることなどから、「対応が難しい」、「採算が合わない」とされる業者もおられたとのご説明もありましたが、一方で、最低制限価格を下回る入札もいくつかありました。また、折角多数の業者の方が参加意思を示されていたにもかかわらず、結果として辞退されたことは、もったいないなと思っておりましたが、背景を調べていただくと、様々な理由があることがわかり、勉強になりました。

(質疑・意見) 例えば、県外の業者が辞退されているとか、地域的な傾向などはあるのでしょうか。

(事務局) 地域的な要因は特に見受けられません。器具の仕入れが支障なく行えるかが、参加にあたっての大きな判断材料になっているのではないかと考えております。

(質疑・意見) 今後も、電気系統の工事は予定されているのですか。

(事務局) 小規模な補修工事は発生いたします。現時点で時期は定まっていますが、空調設備の更新時は規模が大きくなるかと思われます。

(3) 競争入札にかかる指名停止等の措置基準適用状況報告(令和5年度上半期執行分)

(質疑・意見) 役員の逮捕をもって指名停止としている事例がありますが、規定上そのようになっているということでしょうか。

(事務局) 本市の「指名停止等の措置基準」で定めております。他市の状況も参考としておりますが、概ね同様の取扱いとなっていると認識しております。

(質疑・意見) どの段階が適切なのか、認知の困難さもあると思いますが、ご点検されているということであれば結構です。

(4) 随意契約サンプリング調査結果報告 (令和5年度第1四半期・第2四半期調査分)

(質疑・意見) なし

以 上